

【本の一部】「プラスチックのひみつ」 という題名の本

◇ プラスチックを賢く使おう

プラスチックは、軽くて丈夫で持ち運びがしやすいうえ、さまざまなお品に加工することができます。わたしたちの生活を見回してみると、プラスチック製品はどんどん増えていて、生活になくてはならないものとなっています。

こんなに便利なプラスチックですが、実はプラスチックの多くは自然には分解されません。植物や動物などから作られるものは、土や水の中で微生物によって分解され、なくなってしまいます。しかし、わたしたちの身の回りで使用されているプラスチックはほとんどが石油から作られているので、自然の中では分解されません。そのため、ずっと残ってしまうのです。

けれども、
「プラスチックのひみつ」という本によると、プラスチックはほとんどが石油から作られているので、自然の中で分解されずに、ずっと残ってしまうそうです。(78字)

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

○ ○ ○ 条件)
【本の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。
岩田さんが、何という本から言葉や文を取り上げて書いたのかが分かるように書くこと。
書き出しの言葉に続けて、三十字以上、八十字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉は
字数にふくむ。



岩田さん

【下書き①】

提案します わたしたちにできる「プラスチックの3R週間」

■ 知っていますか プラスチックごみの問題

わたしたちの周りには多くのプラスチック製品があります。例えば、ペットボトル、ストロー、レジ袋などです。プラスチック製品のおかげで、わたしたちは便利な生活を送ることができます。

しかし、これらのプラスチック製品がごみになると、大きな問題になります。最近の新聞には、海岸に打ち上げられたクジラの胃の中からペットボトルなどが発見されたという記事や、森のサルがプラスチックごみを食べてしまったという記事がありました。わたしは、プラスチックごみが生き物に深くくなえいきょうをあたえていることにアヒジョウにおどろきました。かん境省のホームページによると、世界のプラスチック容器の生産量は、1964年は1500万トンだったのが、2014年には3億1100万トンになっているそうです。以前に比べて増えていることが分かります。

プラスチックは時間がたつと分解されてなくなるだろうと考えている人がいるかもしれません。けれども、

■ みんなで減らそう プラスチックごみ

わたしは、便利だからといってプラスチックを当たり前のように使うという考えをイあらため、プラスチックごみを減らすためにできることをしたいと思いました。そこで、わたしたちにできる「プラスチックの3R週間」を提案します。3Rとは、ごみそのものを減らすリデュース (Reduce)、くり返し使うリユース (Reuse)、ごみを資げんに変え、再び利用するリサイクル (Recycle)のことです。

わたしたち一人一人の力はとても小さいかもしれません。しかし、その力が積み重なれば大きなものになります。
【A】大切なことは、行動することが大切だと思います。

A 大大切なことは、行動することが大切だと思います。

岩田さんの学級では、生活の中で気になつたことについて調べています。岩田さんは、プラスチックごみの問題について調べ、ごみを減らすための行動について学級の友達に提案することにしました。次は、岩田さんが書いている文章の【下書き①】と【下書き②】です。これらをよく読んで、あとの問い合わせに答えましょう。

【光村】
あなたは、どう考える

組

卷

氏名

教材名

【光村】
あなたは、どう考える

組

番

氏名

森さんたちは、「緑のカーテン」を作るため、同じ学年の友達に協力してほしいと思い、次の「緑のカーテン作りへの協力のお願い」を書いています。これをよく読んで、あとどの問い合わせに答えましょう。

正答率: 71.1%

③

【『緑のカーテンを始めよう』の一部】

文のはじめにある数字は、その文の番号を示しています。

①緑のカーテンは外から部屋に入つてくる熱をどれぐらい防ぐことができるのでしょうか。
 ②緑のカーテンでおおつた場合と、布のカーテンをしめた場合とで比べてみました。③実験から、布のカーテンでは熱の3割しか防ぐことができませんが、緑のカーテンでは8割も防ぐことができることが分かりました。④緑のカーテンでおおうことによって、冷房の設定温度を上げることもできます。

【友達の考え方】

緑のカーテンでどれぐらいすずしくなるのかなあ。私は布のカーテンをしめればだいじょうぶだと思うよ。



二 森さんたちは、次の【友達の考え方】と同じ考え方の人を説得するために、本から文を引用してア

ー部】の①から④までのなかから一つ選んで、その番号を書きましょう。

【緑のカーテン作りへの協力のお願い】

緑のカーテン作りへの協力のお願い

6年1組 森・中村・秋山

緑のカーテンとは

夏が来ると、教室が暑くなってしまったことはありませんか。わたしたちは、それを解決するために緑のカーテンを作ることにしました。

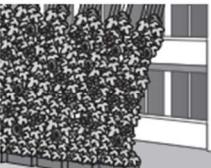
緑のカーテンとは、まどの外に植えたアサガオなどの植物で、日ざしをさえぎるようにしたものです。緑のカーテンを作ると教室をすずしくすることができます。

中には布のカーテンをしめればよいという人もいるかもしれません。しかし、緑のカーテンを使うと布のカーテンよりも室内の温度を下げることができます。例えば、『緑のカーテンを始めよう』という本には、「ア」と書かれています。緑のカーテンは、夏をすずしく過ごすためのくふうの一つなのです。

緑のカーテンの作り方

わたしたちは、できれば1階から3階までの全教室をおおうように緑のカーテンを作りたいと考えています。そこで、次のように作ろうと思っています。

- 1 大きな植木ばちを用意し、肥料と土を入れて1階に置く。
- 2 1階から3階までネットをはる。
- 3 アサガオの種をまく。
- 4 たくさんの水をやる。
- 5 一番太いつるが1mぐらいになったら先の芽を切る。
- 6 芽が分かれてのびてきたらネットにまきつける。
- 7 7月になったら肥料を追加する。



水やりに協力してくれる人をほ集します

